



会 第 3 号 平成30年9月1日発行 公益財団法人 信陽舎 舎友会

事務局 ☎(045)902-2575;090-9841-6349

発行人 福與 卓臣

E-Mail: tof2943@citrus.ocn.ne.jp

随想『徒然に(2)』

舎友会会長 牧内 良平 (舎友No.91) 神奈川大学理事長

人生、先に何があるか分かりません。 傘寿を目前にし、悠々自適の余生を送ろうと準備していたところ、突然、大学経営のトップを仰せつかるハプニングに遭遇しました。 昨年の舎友会総会の直後のことで、神奈川大学の理事長に就任しました。

大学受験で浪人し、留年までして25歳を過ぎて社会人になった身ながら、80歳まで現役で活躍できた人生。 マスコミ人として 5 3 年、十分に満足し、充実した一生だったはずでしたが。

このハプニング。 私にとって初めてではありません。 まずは、第一の人生。 神奈川新聞社の記者として26年。 社会部長時代が最も充実し、世に警鐘を鳴らした長期連載を連発、日本ジャーナリスト会議奨励賞を2回受賞。 経営側で10年。 専務取締役をあと3年も続ければ66、7歳ぐらいで、立派に人生を終えていたはずでした。

ところが当時の岡崎・神奈川県知事の鶴の一声で、県から天下り人事が30年間、5代続いたテレビ神奈川の社長を引き受ける羽目に。 当時のテレビ神奈川は3年連続赤字で、社内留保も少なく、デジタル放送の準備は皆無。 そこで、8.8億円の資本金を36億円に増資するなど、資金調達に注力し新社屋建設と、デジタル機器を一新し、全国地方局第一号のデジタル放送を実現しました。 社長、会長、相談役を歴任、この6月で17年間の、第二の人生を終える予定でした。

神奈川大学では、理事を3年経験しただけ。 しかも卒業生しか理事長になれない慣習の中、18歳人口が激減期に入り、危機感を持った学長らのクーデターでの就任でした。 直面する最大の仕事は、横浜のシンボルというべき「みなとみらい21地区」に、高さ100m、21階建てのキャンパス(5000人収容)を建設、新学部「国際日本学部」を開設すること。 新しい学部の教授には、かつての愛弟子・江川紹子を迎えることを内定しています。 これも因果な話ですね。

エッセイ(2)『大学生たちの昔と今』

舎友会副会長 林 史典 (舎友No. 67) 元筑波大学名誉教授

私が信陽舎で過ごしたのは1960年代の前半。 それから、もう半世紀が過ぎました。 退寮後は大学院に進学し、大学に職を得て、この3月、40余年にわたる大学での教育・研究を終えました。 今回は、その間に感じた大学生たちと彼らを取り巻く大学環境の変化について述べることにします。

まず、大学教育の "実質化" が進行しました。 1年間に取得できる単位の上限が定められ、授業の回数も、90分授業の場合なら半期 15回を確保することが求められるようになりました。 ろくに勉強しないで 大量の単位を掻き集めたり、年間授業回数の3分の1は休講にしてしまうといった、学生や教員の猛者はいなくなりました。

成績管理も厳しくなり、GPAなどという言わば "平均点" を重視する大学まで増えました。 志望する学部・学科も、好きな分野より、自分にとって有益・有利な分野を選ぶ傾向が大きくなりました。 いずれも、グローバル化を含む社会的変化の影響です。 複写機やコンピューターの発達も、大学での勉学を変えました。 複写機の無かった頃は、文献を読んで大切な内容をノートしましたが、今はそんな手間は要りません。 苦労して必要な資料・文献を探さなくても、インターネットを使えばある程度の情報が得られます。 コンピューターの端末は、よく考えながら長い文章を読むのに不向きですから、そういう機器に慣れると、深く読んで思考するより短小な情報に反応する傾向が強くなります。

学生たちの人間関係にも変化があります。 ネットでの繋がりが広がる一方、対面的交流の苦手な人が増えたように感じます。 小さな集団の中で平穏に過ごすことを好み、大きな集団の中に自分を位置づけることが下手な人、自分と異なる関心や価値観を持つ人とは良好な関係を作ることができない人も増えたのではないでしょうか。 ただし、最後に述べた点は、信陽舎で過ごした方々、過ごしている方々とは無縁であろうことを述べ添えます。

第2回舎友会有志親睦ゴルフ会 平成30年6月14日 清川カントリークラブ

梅雨の合間、暑くもなく絶好のゴルフ日和となった6月14日、神奈川県の清川カントリークラブに80歳の牧内良平会長をはじめとして嶋岡洋平監事、片桐勝臣監事、池神利勝副会長、深澤克巳副会長、青柳淳英幹事に事務局・福與の計7名が集合、9時52分、平均年齢73歳のゴルフがスタートした。 プレーでは、プロトーナメント並みに速いグリーンに皆さん大苦戦。 ダブルペリアでの成績は、優勝が最も若い青柳さんで、2位以下も年齢順となり、奇しくも体力の差がモノを言う結果と相成った次第。 19番ホールは、牧内会長ご贔屓の本厚木駅南口の中華料理「慶福楼」に席を移し、美味しい中華料理と紹興酒に舌鼓を打ちながら、舎友会を活性化し、寮の運営を後方支援していくことを確認して散会となった。 (福與記)



長野•北信支部設立会合報告

開催日時:平成30年4月15日(日)午後14時~16時30分

会 場:長野市内 宴席「油や」長野駅善光寺口前

出席舎友	舎友No.	入寮年	居住地
神波 潔	85	1961	長野市
水上 壱雄	194	1969	長野市
田尻 実	207	1970	中野市
寺島裕一郎	217	1971	長野市
仁科 圭右	306	1982	長野市
田川 洋介	512	2005	山ノ内町
南澤 汰亮	601	2014	長野市
(オブザーバー: 東京より特別参加)			
池神 利勝	109	1963	東京都
福與 卓臣	117	1963	横浜市

【長野·北信支部役員】			
会	長	神波	潔
幹事	長	田尻	実
事務局	長	仁科 🗄	上右







当初は東京から参加の池神、福與の2名を加えて10名が出席の予定であったが、柳澤純(210)さんが急用のため欠席との連絡が入り総勢9名が出席して設立会合が行われた。

まず、発起人の福與より長野・北信地区在住舎友名簿並びに舎友会報「武蔵野」第2号を配布した上で、支部設立の趣旨説明と他の支部(飯田支部・松本支部)の活動内容などについて説明を行った。 続いて最長老の神波潔さんによる乾杯の挨拶の後、役員の選出が行われ、全会一致で上記のとおり決まった。

その後、各自の自己紹介が行われ、寮時代の想い出や現在の寮生活、舎友の近況話等が行き交い楽しい宴会となった。 水上、田尻、 寺島さんの3名は寮で一緒だったことで仲間の近況などの話に花が咲き、寺島さんは上京するときは必ず、東京在住の舎友・山口章裕さんと合っているとのこと。 仁科さんは1年しか寮に居なかったが、先輩に岩原伸さん、池野兼浩さん、高野雅彦さんなどがいて楽しい寮生活だったとのこと。 今年3月に卒寮の新社会人である南澤君は、「JAグリーン長野川中島支所、融資営業、渉外係」の名刺を配りながら、先

輩舎友に挨拶をする姿はとても初々しく、新社会人としての 決意が垣間見られた。 神波さんは、仁科君の義理の父親 (㈱マルイチ産商社長) とは趣味の会で親しくしているとのこ とで話が盛り上がっていた。

今後は年に1回程度の会合を行い、参加者を増やして 親睦を深める中で寮のPR活動を支援していくことを話し合 楽しいひと時は午後16時30分にお開きとなった。

これで長野県下の3地区(北信、中信、南信)の支部が設立された。 長野支部も東信地区(上田・佐久)の舎友にも声をかけて軌道に乗せ、寮のPR活動や面接会場の設置など寮の運営を後方支援する体制ができることに期待したい。 (福與記)



(後列)田川洋介、寺島裕一郎、南澤汰亮、池神利勝 (前列)水上壱雄、田尻 実、神波 潔、仁科圭右、福與卓臣

【信州の明珠財宝】 国宝·大法寺三重塔 (上田盆地·塩田平の青木村)









鎌倉時代創建、山里にひっそりと佇むその姿は "何度も振り返って見たくなるほど美しい" と言うことで別名「見返りの塔」と言われた。

☞ 舎友便り ☞

- 塚田浩一(S1): いつも息子が大変お世話になっております。 理事皆様のご尽力は息子からよく聞いております。 私は、コンサル業 を細々と継続しております。 舎友会総会でお会いできるのを楽しみにしております。
- 後藤寿明(4): 信陽舎の活動のために大変ご尽力下さっている由、大変ご苦労様です。 昨年、兄・直衛の葬儀のため、わざわざ ご出席いただき有難うございました。 第一期生として、舎友が既に600名超とは大変な驚きです。
- 鎮西清高(9): 体調不良のため長時間の旅行ができませんので、大変残念ですが欠席致します。 皆様に宜しくお伝え下さい。
- 中平喜則(10): 昭和35年卒業(約58年前)、戦後信陽舎の再建寄付金集めにも参加しました。 信陽舎の益々の発展を願っています。 高齢(8月で満82歳)となり、以後参加できませんので、ご案内は結構です。
- 平澤正通(11): 舎友会役員の皆様ご苦労様です。 立派な舎友会報を有難うございました。 今年83歳になりますが、まず~元気で暮らしております。 総会でお会いできるのを楽しみにしております。
- 福島芳彦(13): ご案内有難うございます。 徐々に歩行困難が増強していますが頑張って総会に出掛けて参ります。
- 宮川章義(14): 相変わらず特養ホームの運営に忙しく過ごしています。 ご無沙汰していますが、信陽舎の健全運営にご尽力下さり 有難うございます。 総会当日は先約の会議と重なった為欠席します。
- 武藤高義(16):いつも幹事役を誠にご苦労様です。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。
- 原田守啓(18):役員皆さんの信陽舎へのご尽力には敬服致します。北信支部の誕生おめでとうございます。
- 岡島幸司(21): 一人での上京には心配な体になってしまいましたので、皆様に宜しくお伝え下さい。
- 松島 稔(24):何とか元気に暮らしております。皆様に宜しくお伝え下さい。
- 椎名洽一(34):役員の皆様ご苦労様です。当日は予定が入っておりまして欠席させて頂きます。ご盛会をお祈りしております。
- 古島史雄(47): 台風5号と6号の合間を縫い、讃岐の金毘羅神社に行ってきました。 785段を踏破の後、奥社への道は、生憎クローズされているとのことで、本宮までにとどめましたが、雨にもめげず参拝のご利益は疑いなし。
- 上松 進(53): 今年も、総会・懇親会で皆様にお会いできることを大変楽しみにしております。
- 浜 国昭(65): 役員、幹事、事務局の皆様には感謝です。 喜寿。 めでたくもありませんが、生前整理を本格的に始めております。 総会・懇親会のご盛会を祈っております。
- 松澤宏景(70): 身体の各所具合悪く、外出も思うようにならない昨今です。 数日前、心臓OPEを終え何とか具合を観ているところでして、色々協力できなくて申し訳ありません。 関係者に感謝! こんな状況で返事が遅くなり申し訳ありません。
- 神波 潔(85): 総会の当日に、長野県岳風会という詩吟の会の北部大会があり、副大会長を務めている関係で欠席できませんの で残念ですが舎友会総会は欠席させていただきます。 参加の皆様には宜しくお伝え下さい。
- 仲田長三(89): ご連絡ありがとうございます。 入寮希望者(現在予備校・河合塾)がおりますので、パンフレットがありましたら2~3部 送って下さい。 来年は何名位入寮可能ですか? お手数ですが宜しくお願いします。
- 坂 好章(99): 昨年10月に体調を崩し、現在、療養調整中です。 総会に出席できないのが誠に残念ですが、盛会を祈念しております。 皆様に宜しくお伝え下さい。
- 中田 茂(102): 総会当日は次年度の採用面接を行う予定のため、残念ですが欠席させて頂きます。 盛会を祈念いたします。
- 小平国俊(113): ご連絡を有難うございました。 あいに〈多忙のため総会には欠席致します。
- 後藤 明(123): ご案内を有難うございます。 皆さんに宜しくお伝え下さい。 盛会をお祈りいたします。
- 横地 徹(124): もう少し話ができるよう(な体調)になればな~と思っております。
- 竹村治恭(140): 大変残念ですが、会社の行事のために第4回総会には参加できません。 皆様に宜じお伝え下さい。
- 原 錬造(144): 総会当日は、こちらの自治会役員で公園の草刈りを予定しており、欠席とさせて頂きます。 送って頂いた会報の中 に懐かしい方の名前や写真を見つけ、当時を思い出しております。 有難うございました。
- 尾畑 明(150): 幹事の皆様ご苦労様です。 当方も古希を迎え、同じ釜の飯を食った寮生や当時の寮生活を夢見ることが多くなった今日この頃です。
- 塩澤隆利(152): 元気でやっております。 皆さんに宜しくお伝え下さい。
- 鈴木昭夫(154): 長い闘病の末ようやく出席できる状態となりました。 皆様にお会いできるのを楽しみにしています。
- 松山順治(158): 残念ながら総会には出席できません。 皆様に宜しくお伝え下さい。 当方は元気にやっております。
- 北原康夫(165): 6月末に手術の予定があり、しばらく養生するため欠席させていただきます。 誠に申し訳ありません。
- 櫻井康夫(166): ご無沙汰しております。 舎友会ゴルフでの池神さん優勝、葛岡さん準優勝おめでとうございます。 私も元気で下手 なゴルフを楽しんでいます。 皆様に宜しくお伝え下さい。
- 古川善博(169): いつもありがとうございます。 私が関係する会合が毎年9月初めの同じタイミングで開かれており、そのために舎友会に は出席できず申し訳ありません。 ご盛会をお祈り致します。
- 中村克己(190): 今回の舎友会総会は他の行事と重なりまして欠席致します。 先日送付して頂いた会報「武蔵野」2号で、皆さんの様子が良く分かり嬉しく思いました。
- 鳴海雅治(192): 舎友の皆様のご多幸を祈念申し上げます。 以前、寮生の幾人かが私のヨット(30ft)でクルージングを楽しみ、交流していたことがありました。 興味のある方はご連絡下さい(在霞ケ浦免費)。
- 前澤孝一(193): ご無沙汰しております。 そこそこ元気で過ごさせていただいておりますが、やはり年齢には勝てませんね。 今年は義母 の傘寿や四人目の孫の誕生予定等もあって、毎日が日曜日の割には忙しい年です。 舎友会に参加したいのですが、丁度その頃がその孫の出産予定で、残念ながら欠席させて頂きます。
- 水上壱雄(194): いつも幹事ご苦労様です。 長野県のどこかで懇親会が開かれるようでしたら出席したいと思っています。

☞ 舎友便り ☞

水上勝秀(195): 事務局ご苦労様です。 現在、阿智中学校の部活指導員をやっていて、練習試合等で出席できません。

森山幹夫(196): 東京での開催に出向くのは、経費的、時間的に難しい。 南信支部での定期的開催を望みます。

吉村裕至(198): 毎年、夏から初冬にかけて実家(長野市)のリンゴ農園の手伝いに行っておりますので、残念ですが総会は欠席させ

ていただきます。 長野・北信支部を立ち上げたとの事、参加者の情報をお願いしたいです。

今村行人(200): 舎友会総会の盛会をご祈念いたします。

田尻 実(207): 先日の舎友会長野(北信)支部設立会合にお力を頂き有難うございました。 又次回の会合も宜しくお願い致します。

岩原 晃(214): ご無沙汰いたしております。 会報第2号を拝見させて頂き、とても嬉しく存じますし、未来に展開して行くネットワークの

広がりを感じます。 昭和46年入寮の年少組ですが、再会した時の懐かしさは格別なものでした。 感謝!

寺島裕一郎(217): 去る4月15日の長野支部の集まりでは楽しく過ごさせていただき有難うございました。 9月6日(木)から暫く遠方に

出掛ける用がありますので、今回の総会の出席は見合わせていただきます。

塩澤 明(230): 舎友会報「武蔵野」を送って頂きありがとうございます。 四十数年前の寮生活が懐かしく思い出されます。私は、

シルバーで中学生に数学を教えたり、ボランティアで里山でヒノキの伐採をしたりと毎日のんびり生活しています。 中村泰昭(234): 誠に残念ですが、9月6日から海外へ行く予定になっており総会に出席できません。 皆様に宜しくお伝え下さい。

杉本研一(254): 定年後は、第2の職場で楽しく働いております。 皆さんに宜しくお伝え下さい。

佐藤正之(261): 所用のため総会を欠席させていただきます。 ご盛会を祈念いたしております。

北原 亨(272): 北原亨は平成29年7月25日に亡くなりました。 生前、信陽舎時代は大変にお世話になりました。 貴会の益々のご

発展をお祈り申し上げます(奥様より)。

岩原 伸(290): 会報第2号を拝見いたしました。 同期会がいくつか開催されている由、楽しそうですね。 われわれも何時かはと思っ

ています。 総会は、(高校生の)大会引率のため残念ながら出席きできません。 ご盛会をお祈りいたします。

高野雅彦(302): 今年は地区役員のため、当日地区の行事と重なる可能性もあります。 欠席の場合は早めに連絡致します。

仁科圭右(306): 過日の長野ご来訪ご苦労様でした。 総会には出席させていただきます。

大平正章(323): 原正一前舎監のお人柄に救われました。 今も感謝の気持ちで一杯です。

木下雅仁(340): 皆様お元気でお過ごしのことと存じます。 今年の4月から飯田に転勤となり、現在は南信州農業改良普及センター

(飯田合庁4階)に努めています。

小林 隆(354): 総会には是非とも参加させて頂きます。

坂田雅生(421): アメリカ在住のため総会に出席できませんが皆様に宜しくお伝え下さい(母親代筆)。

岡田 匠(450): 住所が(京都市内)変わりました。 申し訳ございませんが総会は欠席致します。

小原一将(451): 総会には出席できませんが盛会を願っております。

田中淳一(470): 2001年から2005年までお世話になりました。 現在は信陽舎のある武蔵野市のお隣の三鷹市に住んでいます。

関口豊和(479): 母校で研究生活を送っております。 フィンランドから帰国して、お陰様で長男も生まれました(父親代筆)。

矢澤達也(506): 住所が(福岡市内)変わりました。 入寮の際お世話になった北澤前副理事長のご冥福をお祈りします。

佐々木優一(572): ご案内有難うございます。 9月8日の総会は、今のところ札幌での講演会の業務が入っており出席は難しいかもしれ

ません。 もし、担当医が講演会に参加しないことになれば出席できるかと思いますので宜しくお願いします。

岩原優(580): ご連絡を有難うございます。 いつの間にか社会人3年目です。 昨年の自分と比べて成長を実感し、楽しい日々を

過ごしています。 9月8日の舎友会はもちろん出席しますので宜しくお願いします。 お会い出来るのが楽しみです。 後田健太郎(593): 弟が寮でお世話になっております。 私は、一年後に迫った司法試験に向けて勉強漬けの毎日です。 9月8日は

刑事模擬裁判のロースクールイベントがあり、出席できませんが、資格を取って舎友会に参加するのが夢です(笑)。

御子柴優樹(597): 仕事(飯田市役所)では、大先輩の池野さんはじめ、いろんな方に助けてもらいながらなんとかやっています。 9月

8日の舎友会総会には参加したいと思います。 皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

森虎太郎(603): ご案内を有難うございました。 今年は仕事のことで忙しく、舎友会に参加できるかどうか分かりませんが、前向きに検

討したいと思いますので宜しくお願い致します。

ご冥福を!

・ 堀口泰造(舎友番号 90、1961年入寮)さん 平成29年3月ご逝去(奥様よりご連絡)

・ 唐澤久勝 (舎友番号256、1975年入寮) さん 平成12年ご逝去 (親族よりご連絡)

武蔵境寮以降・北原 亨(舎友番号272、1977年入寮)さん 平成29年7月25日ご逝去(親族よりご連絡)

の物故者52名・上野 勝(舎友番号359、1990年入寮)さん 平成24年5月ご逝去 (親族よりご連絡)

信陽舎の玄関口・ 武蔵境駅北口





再開発整備され近代的になった北口駅前に昔の面影はない

11名の新入寮生を迎えて歓迎会

平成30年4月新入寮生11名紹介



総勢42名が出席して平成30年度新入寮生歓迎会は定刻の午後18時30分に始まった。 新入寮生11名の内、大久保龍太君だけが

軽井沢での大学のオリエンテーション合宿に参加のため欠席となってしまった。

新入寮生10名が参加者の拍手の中を入場し上座の席に着いたところで、新入寮生を囲んでの参加者全員の記念撮影を行った。まず、丸山寮長の開会宣言、続いて山崎・平林副寮長の司会進行で歓迎会はスタート。 最初に古島理事長より、今年で112年目という長い歴史を持つ信陽舎もここ数年で素晴らしい寮風が出来上がりつつあるが、新入寮生の皆さんには是非この寮風を維持発展させ、信陽舎の評判を高めていっていただきたいとの歓迎の挨拶があり、続いてケアハウスの村田施設長より、ケアハウスは昨年お亡くなりになった方や出られた方などで現在の入居者は定員30名のところ23名となったが、それに引き換え、信陽舎は何年ぶりかで定員30名が満室となったそうで誠にお目出たい。 新入寮生の皆さんにもケアハウスとの合同避難訓練や行事に是非参加して頂き交流を深めて頂きたいとの祝

次に、福與副理事長より、この4年間の寮生活において、「君汲川流 我拾薪」という協同作業を通じて、「友の憂いに吾泣き、吾が喜びに友は舞う」という人間関係を築き、寮生活の醍醐味を実体験して社会に出て行ってほしいとの挨拶があり全員で乾杯を行った。

続いて、新入寮生の自己紹介があり、村上君が「自分は身体を動かすことが好きなので何でもやりますから、自治活動でこき使って下さい」と話したところ、次の小林君や西脇君等も同様に「こき使って下さい」を連発したのには会場が大爆笑!大いに盛り上がった。

今回は、ケアハウスのお年寄りが帰られる前に余興をやろうと宴の早めに、大石君の電子ピアノ、神田さんのギターの演奏と美声の山本君の歌の披露があった。 二曲目のとき、やはり歌が大好きという新入寮生の村上君がマイクを持って飛び入り参加し、山本君との歌のコラボというハプニングもあり大いに盛り上がった。

新入寮生の席に先輩寮生たちが入れ替わり立ち代わり、飲み物や食べ物を運びながら話しかけるなど、とても和やかで雰囲気の良い歓迎会が繰り広げられた。 盛況の中、指名された福與副理事長が新入寮生の親御さんの心境を謳った歌手・さだまさしの「案山子」を歌い、最後に寮歌と信濃の国を全員で斉唱して新入寮生歓迎会は幕を閉じた。 (運営記録より)



○ 遂に満室達成 ○ 《平成30年度寮生募集》

少子高齢化、核家族化、経済的理由による地元志向などの社会風潮のなか、各県人寮とも定員割れという状況が慢性化し、最盛期には首都圏に60軒あった県人寮も閉鎖を余儀なくされ現在は約40軒に減少していた。

信陽舎も例外ではなくここ4~5年定員割れが続いていたが、今年度(平成30年度)募集において募集定員(11名)を上回る応募があり、3月13日時点で応募を締め切らざるを得なかった。 その結果、約5年ぶりに全30室が埋まり満室となった。

要因としては、むろんPR活動もさることながら、事前に寮を見学するケースが増えたことが挙げられる。 見学に訪れた親子の印象は、例外なく、他寮に比べて信陽舎寮内の清掃が行き届き、清潔で綺麗なこと、案内した寮生の応対が親切で安心できるというもので、信陽舎の寮風が好印象を与えたものと思われる。

*** 賽生活 ***

② 卒寮生M君、涙の退寮劇! ②

2月24日の送別会の最後の挨拶において、その変身・成長ぶりで出席者を感激させた卒寮生M君は、2月28日、無事退寮し、 長野県佐久市の実家に帰っていった。

退寮前日の夜から、「もっと寮にいたい! 皆と別れるのがつらい!」と涙を流していたというM君は、当日、バスタ新宿発8時の高速バスにて信州・佐久の実家に帰るべく、朝5時過ぎに寮の玄関に降りていくと、寮に残って居た後輩たち全員が見送りに出てきたのを見るやいなや、またもや感激して涙を溢れさせてしまった。

そのとき、M君が手荷物を四つも持っているのを見た1年生のT君とG君は荷物を手分けして持ちバス停まで送ろうとするのを見た長谷川寮母さんが、「武蔵境駅前で朝食にラーメンでも食べて行きなさい」とT君にお金を渡して見送ったのです。

そして、M君は後輩のT君、G君と寮母さんに言われた通り、武蔵境駅前で朝食代わりのラーメンをごちそうになり、「それじゃ〜ね! 二人とも有難う。 元気でな〜!」と最後の別れを言って電車に乗るべく4個の荷物を持とうとしたとき、T、G両君が荷物を持ち、「M 先輩! 新宿までお持ちしますよ!」と言ったところ、再びM君は人目もはばからず号泣し始めたのです。

そのときT君曰く、「僕らが先輩を泣かせているみたいだから泣くのは止めてくださいよ!」と優しくなだめ、一緒に電車に乗りバスタ新宿まで送って行った。 バスタ新宿で高速バスに乗り込んだM君の目からはまたもや涙が溢れていたとのこと。

これぞまさしく信陽舎の運営理念である "<u>友の憂いに吾は泣き、吾が喜びに友は舞う</u>" を地で行く醍醐味、寮生活が育んだ友情そのものではないか。 素晴らしい寮生諸君に感謝・感激・乾杯!

退寮した翌日の3月1日、M君より下記の内容のお礼のメールを受信したので紹介しましょう。

「理事福與様 昨日、退寮しました406号室のM.Tです。 短い間でしたが本当にお世話になりました。 昨日は沢山の寮生が見送りに来てくださって、とても幸せな気持ちで寮を出ることができました。 理事の方々や長谷川寮母さん、そして寮生と過ごした日々は大切な思い出になりました。

今後は信陽舎OBとしてぜひともお付き合いをさせて頂きたいと思います。 引っ越し先の住所は長野市篠ノ井・・・ となります。 今まで本当にお世話になりました。 それでは今後とも宜しくお願い致します。 M.T.」 (運営記録より)

ケアハウスとの合同夜間避難訓練

午後7時に春秋館内全体に警報が鳴り、「火事です!火事です! ただ今出火元を確認中です、避難の準備をしてください」との館内放送があり、続いて「出火元はケアハウスの4階の談話室ですので、ただちに学生寮側に避難してください。 学生さんには避難誘導をお願いします」との放送があった。 各階の学生たちが同じ階の防火扉を開けてケアハウス側に行き、各階の住人達に声掛けをしながら寮側に誘導避難をさせた。 手の余っている学生はケアハウスの1階、2階に回り各居室や共同風呂、トイレ等にも声掛けをし、学生寮へ避難誘導させた。 最後に各階ごとに避難した居住者の人数を確認し、1階事務所に報告して、避難訓練は終了した。 警報が鳴ってから避難誘導が終了するまでの所要時間は約8分であった。

避難訓練が終了した後、参加した寮生13名とケアハウス職員全員が春秋館玄関前のピロティに集合して消火器を使った消火の実地訓練を行った。 消火器を5台用意し5名づつ交代で、想定した火元に向けて実際に消火剤を吹き付ける訓練を行ない、午後7時30分に全ての訓練は終了。

訓練終了の後、参加寮牛とケアハウス職員全員がケアハウスの食堂に集合して反省会を行った。

まず、ケアハウスからは、今回の訓練に13名もの学生が参加してくれたことに感謝の意が述べられた後、参加した学生や職員全員より一言ずつ感想や意見の発表があった。 特に今回の避難訓練ではこれまでと違い、ケアハウスの住人には訓練日時を知らせない、いわゆる実際に近い形で行ったため、外出していて留守の部屋や夕食後で寝てしまっていて、声掛けしても出てこない住人もいるなど、呼びかけに時間がかかってしまったが、現実に近い臨場感を体験できたのではと思う。

ケアハウスの職員からは、出てこない住人に何時までも声掛けを続けていて学生自身が火や煙にまかれ危険に晒されることのないよう、 自分自身の身を守ることを優先するようにとの指摘もあり、参加寮生達には貴重な経験となった。 (運営記録より)







消火器による消火実地訓練

反省会の寮生たち

《運営報告》

功労者への感謝状贈呈

寮に常駐する舎監又は理事が居ない現状において、日常の寮生指導、設備管理・維持等の面で下記3名の方々のご尽力に負うところ が非常に大きいということで、理事会と寮生自治会の共催で、この3名の方々の多大なる功労に対し深い敬意を表すべく、感謝状贈呈祝 賀会を6月30日(土)午後16時より執り行った。

午後1時30分頃から、会場の 設定をはじめ食料等の買い出し等 手分けして寮生たちが準備を始め た。 午後4時前には、配膳の準 備なども終わり、定刻の4時、招 待客の4名の方々を拍手をもって 迎え、出席者全員が席に着いたと ころで、司会進行の池神常務理 事が、本日の催しの趣旨説明と 「主催は理事会と寮生自治会の 共催ということで、料理のメニュー等は、



なって準備したのでご満足いただけるかどうか分かりませんが、存分に楽しんで頂ければと思います」と語って「感謝状贈呈式」が始まった。 開会挨拶として伊原理事学監がこの催しの意義について語った後、古島理事長と丸山寮長から主催者挨拶があり、古島理事長より感 謝状が贈呈された。 続いて、記念品が神藤前寮長より贈呈され、全寮生が寄せ書きした色紙と花束が長谷川寮母さんには塚田君より、 神田さんには大石君より、松井風呂店さんには松井君よりそれぞれ贈られた。 最後に、受賞者3名からそれぞれお礼の挨拶があり贈呈式 は終了し祝賀会に移行。 祝賀会は寮生自治会が主導で、山﨑副寮長が司会進行役を務め、宮嵜健太君の乾杯の挨拶で始まった。 宴の途中、寮生の各学年を代表して1名づつがマイクを握り、感謝の言葉を述べた。 1年生からは大久保龍太君、2年生から牛山天陽

皆それぞれ、お三方のお陰で寮生の日々の生活が成り立っているのだと改めて感じた、と感謝を述べたが、特に印象的だったのは、松尾君 の「自分は長谷川寮母さんに怒られるたびに成長できている」との話と、最後に語った神藤君の「感謝の気持ちを言葉で伝えるのは簡単 だが、行動として伝えられるように努力すべきだ」との言葉には、出席者全員が感銘を受けた。 宴半ば、余興として 池神常務理事と牧野 理事学監がそれぞれご自慢の "詩吟" を披露、最後に牧野理事による閉会挨拶と万歳三唱を行って閉宴となった。

君、3年生から松尾龍君が、そして一番長くお世話になった4年生からは特別に大石晃也君と神藤駿介君の2名が感謝の言葉を語った。

表彰事由·功績

察に常駐する舎監あるいは理事が居ない現状において、日常の寮生指導、設備管理・維持等におけるお三方のご尽力に負うところが 非常に大であり、その多大なる功労に対し深い敬意を表すべく感謝状を贈呈する次第です。

【長谷川廣子寮母様の功績】

寮生の日常生活において、食事の賄い業務 のみならず、朝の挨拶から始まり、起居動作、 言動等の躾に至るまで親御さんに代わり寮生 ひとりひとりに寄り添い、時には厳しく、時には優 しくご指導頂いています。 また、食事賄いのな



い週末等には寮生たちにバーベキューのお好み 焼きや外食を馳走したりと、親身の愛情を注い で頂いています。 その献身的なご指導とご奉 仕には頭が下がる思いであり、その慈愛に満ち た功労に対して、深い敬意と感謝の意を表し ます。

【神田聖史様の功績】

小金井シルバー人材センターより派遣され て寮内の共用部分の清掃業務を担って頂 いていますが、契約業務外の仕事にも積極 的にご奉仕頂いています。 個室の建具の 修理や入寮前の部屋の清掃、カーテンの洗



濯、カーテンレールの設置等々と寮生たちが 日々気持ちよく生活できるようにと、献身的 にご奉仕頂いています。

今後とも長くお付き合い願いたく、その高 潔なるご奉仕に対し敬意と感謝の意を表 します。

【松井風呂店様の功績】

伊原理事学監の紹介で寮の設備管 理・修繕業務等を担っていただいている 松井風呂店(父子2名)様は、信陽舎 の運営理念と公益的役割に意気を感 じ、様々な修繕業務を迅速かつ利益を



度外視した特別価格にて行って頂くな ど、経費削減の面で 寮に多大なる貢 献をされております。

今後も親子二代にわたって長くお付き 合い頂きたく、その功労に対し深い敬意 と感謝の意を表します。

☎ 事務局・編集部便り ☎

年会費徵収報告

平成29年度年会費徴収は、第3回総会開催案内状に郵便振替用紙を同封し、276名の舎友に納入依頼した結果、153名からの納入があり当初の目標であった会員(会費納入)数150名を達成できた。

目標会員(納入)数	150名
納入依頼数	276名
会費納入数	153名
達成率	55%

平成30年度目標数: 200名

会報「武蔵野」第1号発行報告

総印刷部数	350部
総会配布	33部
郵送配布	256部
その他(寮生、寮母等)	30部
配布合計	319部

会報「武蔵野」第2号発行報告

総印刷部数	450部
手渡配布	25部
郵送配布	355部
その他(寮生、寮母等)	35部
配布合計	415部

会報「武蔵野」第3号発行予定

発行予定日: 平成30年9月1日

発行予定部数: 450部

平成29(2017)年度 信陽舎舎友会 決算報告

収支	項目	摘要	金額
収入の部	繰越金	第2回舎友会より繰越	89,369
	年会費	郵便振替 152件	228,000
	"	現金 1件	1,500
	第3回総会参加費	郵便振替 1名x6,000円	6,000
	"	当日現金 32名x6,000円	192,000
	寄付	福島芳彦氏より	10,000
	雑収入	舎史「再建20年史」「100年のあゆみ」代	2,000
	合計		528,869
	会報「武蔵野」制作費	印刷代 350部	64,152
支出の部	総会開催費用	9月9日、新宿サンパーク本館	143,130
	二次会費用	" 役員会反省会	6,510
	事務費	印刷用紙、プリントインク代等	29,506
	通信費	案内状・返信ハガキ、会報郵送料	62,572
	雑費		0
	慶弔見舞金	後藤直衛飯田支部前会長香典、生花代	26,200
	手数料	郵便振替•印字手数料、振込手数料等	17,762
		小計	349,832
	繰越金	次期へ繰り越し	179,037
合計			528,869

繰越金内訳	郵便振替口座	113,446
深地並打扒	現金	65,591

平成29年度信陽舎舎友会 会計監查報告書

信陽舎舎友会 殿

平成29年度信陽舎舎友会における事業報告、決算収支報告書、郵貯振替口座、現金出納帳並びに付属明細書、領収書等を監査した結果、適正に処理・記載されていることを認めます。 平成30年5月26日

法人役員大募集!

事務局までご一報を!

公益財団法人信陽舎の運営を担っていただける役員(理事・監事)を募集しています。 学生寮信陽舎の維持・運営のために舎友の皆さんのお力をお貸しください!

《 事務局からのお知らせ 》

☞ お便り大歓迎! ☞

舎友の皆さんの便りを募集しております。 今期より会報 の発行は年2回に増やしましたので遠慮なく下記事務局ま でどしどしお便りをお寄せ下さい。

≪ 会報「武蔵野」編集委員 ≫

上松三治彦(108)	竹村 治恭(140)
葛岡 龍夫(151)	浅沼 弘愛(172)
青柳 淳英(280)	池野 兼浩(298)

会報「武蔵野」第3号 平成30年9月1日発行

☎ 舎友名簿に関するお願い ☎

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行って おりません。 同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、該当する 舎友の連絡先を必要とされる場合は、下記事務局までお問合せ下さい。

> 〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 3 信陽舎舎友会事務局 福與卓臣(フクヨタカオミ) ☎(045)902-2575 携帯☎ 090-9841-6349

> > E-mail: tof2943@citrus.ocn.ne.jp